

B—7 衣服寸法の基準設定に関する研究 (第1報)大学女子学生の身体計測的研究

お茶の水女子大内 柳沢 澄子
衣服寸法研究グループ

私共は、日本人女子体型の現状を把握し、体型に適する衣服寸法の基準を設定する目的で、今回全国の大学女子学生を対象として身体計測的研究を行なった。

研究組織は、大学・短大で被服構成学の研究指導に従事し、身体の計測的研究又は衣服寸法に関心を持つ者19名（茅野艶子—*鹿児島県立短大, 加地悦子・松本淑子・才田真喜代—福岡県の*中村栄養短大, 小池三枝子・杉原菊代—*広島女子短大, 土井サチヨ・石田勝代・勝谷弥生—京都女子大, 岩瀬国子・丸山信子—*名古屋女学院短大, 益田貴美子・岩瀬ひろ・佐藤貞子—*金城学院大短大部,

小野貞子・西沢直・関川信子—*信州大, 伊藤令子—三重大, 桃チヨ—千葉県*昭和学院短大, 柳沢澄子・須貝容子—*お茶の水女子大, 雁部愛—宮城県*聖和学園短大)である。

昭和36年8月全員で計測項目(20項目)の決定, 計測法の統一, 統計的処理の方法などについて6日間にわたり準備を行なった。計測は同年9月から約3カ月間に, 研究者の所属する大学(*印の10校)の女子学生合計1605名について実施した。引きつづき学校別に計測結果(\bar{x} ・ s ・ r)を処理し, 翌昭和37年8月全員で総括する作業を行なった。つぎに総括結果を用いて, 推定式作成・推定値算出などを分担して行ない, 体格別(身長・胸囲による)に, 今回は総丈・背丈・袖丈・背肩幅・胴囲・腰囲・頸囲・手頸囲の8項目の基準寸法を設定してみた。